

## パブリックコメント等による意見取りまとめ結果の概要

| 計画名    | 第2期北海道障がい者基本計画【改訂版】  |     |    |       |    |   |                 |    |   |                     |    |   |                                |     |   |               |    |   |               |    |
|--------|--|-----|----|-------|----|---|-----------------|----|---|---------------------|----|---|--------------------------------|-----|---|---------------|----|---|---------------|----|
| 意見募集内容 | <p>ホームページ等で計画素案等を公表し、電子メール、ファックス及び手紙により意見募集（期間：12月8日～1月9日）</p> <p>延べ 18 件（個人：10件、団体：8件）</p> <p>&lt;意見に対する道の考え方の区分別件数&gt;</p> <table border="1" data-bbox="312 555 1460 902"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>道の考え方</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>意見を受けて素案を修正したもの</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>素案と意見の趣旨が同様と考えられるもの</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>素案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>素案に取り入れなかったもの</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>素案の内容についての質問等</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>   |     | 区分 | 道の考え方 | 件数 | A | 意見を受けて素案を修正したもの | 2件 | B | 素案と意見の趣旨が同様と考えられるもの | 6件 | C | 素案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの | 10件 | D | 素案に取り入れなかったもの | 0件 | E | 素案の内容についての質問等 | 0件 |
| 区分     | 道の考え方  | 件数  |    |       |    |   |                 |    |   |                     |    |   |                                |     |   |               |    |   |               |    |
| A      | 意見を受けて素案を修正したもの  | 2件  |    |       |    |   |                 |    |   |                     |    |   |                                |     |   |               |    |   |               |    |
| B      | 素案と意見の趣旨が同様と考えられるもの  | 6件  |    |       |    |   |                 |    |   |                     |    |   |                                |     |   |               |    |   |               |    |
| C      | 素案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの   | 10件 |    |       |    |   |                 |    |   |                     |    |   |                                |     |   |               |    |   |               |    |
| D      | 素案に取り入れなかったもの  | 0件  |    |       |    |   |                 |    |   |                     |    |   |                                |     |   |               |    |   |               |    |
| E      | 素案の内容についての質問等  | 0件  |    |       |    |   |                 |    |   |                     |    |   |                                |     |   |               |    |   |               |    |
| 意見の概要  | <p><b>【区分A：意見を受けて素案を修正したもの】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について追記するべき。</li> <li>○ 移動支援の確保について、「移動支援」が地域生活支援事業のメニューを指すのか移動支援全般を指すのかわかりにくく、文言の整理が必要。</li> </ul> <hr/> <p><b>【区分B：素案と意見の趣旨が同様と考えられるもの】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入所施設の人が地域との交流や外出が自由にできるようにヘルパーの人材確保をしてほしい。</li> <li>○ 医師が障がいについての正しい知識を持ち、親が不安にならないようにしてほしい。</li> <li>○ ジョブコーチの人材確保をお願いしたい。</li> <li>○ 「ヘルプマーク」はもっとまちの中で周知する必要。</li> <li>○ 「ノーマライゼーション」とありますが、サラマンカ宣言以降、「ノーマライゼーション」の考え方ではなく、「インクルージョン」の考え方に推移すべきだと言われている。にもかかわらず、なぜ修正しないのか。理念が全く異なる。</li> <li>○ 「市町村子ども発達支援センター」の位置づけが制度上明確ではない。また、センターへの支援も十分ではない。「市町村子ども発達支援センター」を明確に位置付け再定義することが必要だと考える。</li> </ul> |     |    |       |    |   |                 |    |   |                     |    |   |                                |     |   |               |    |   |               |    |

【区分C：素案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの】

- 「発達障害者支援（地域）センター」について、空知は函館市に設置しているセンターが担当。この距離で、支援体制の充実が促進できるとは思えない。新たな施策をお願いしたい。
- 入院時コミュニケーション支援事業をもっと多くの時間、多くの人が利用できるよう地域間格差を減らしてほしい。
- 「広報や町内会の回覧板にもふりがなをつけるように行政から町内会への連携や配慮を行っていく」ことを追記してほしい。
- 要約筆記者の養成期間を現行の2年から1年にしてほしい。
- 要約筆記者統一試験を養成修了者以外に、地域で頑張っている人も受けられるようにしてほしい。
- 要約筆記者の広域派遣体制も充実してほしい。
- 息子が高等養護学校の時、個別の教育支援計画は全く機能していなかった。見せてもらうのは、遅い時は9月で、しかも計画期間は1年。これでは、長期にわたり将来像を見据え、一貫した支援を行うことはできません。このあたりから改善をほしい。
- まだまだ、多くの教員は発達障がいを正しく理解していない。質の向上が重要。
- 発達障がいの特性に応じたコミュニケーションツール等の活用や普及が必要。
- 北海道が、一貫したプログラム（制度）によって「自閉症と関連症状を有する児童生徒」の療育と教育を実施することが必要。